2021 年度　　授業概要

科目名	地域作業療法学実習Ⅰ②			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23 回	時間数	45 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年時期	1年 後期

【授業の目的・ねらい】
地域の臨床現場での体験実習を通して、作業療法士として必要とされるコミュニケーションを身につける。

【実務者経験】
県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。
作業療法士として，精神科作業療法，精神科デイケア，司法分野として，刑事施設における作業療法に従事経験。

【授業全体の内容の概要】
オリエンテーション、リコルスひめじでのコミュニケーション実習、レクリエーション及び作業活動
教員がフィードバックを行い修正を行う

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
高齢者及び園児とのコミュニケーションが適切に行える。経験したことを表出し臨床実習につなげる。
要素を活かした作業活動を自分で考え実施することができる。

回数	講義内容	準備物(教材)
16	（リコルス保育園）1班交流授業実施　交流授業準備（プログラム立案検討や道具作成等）	資料
17	（リコルス保育園）4班交流授業実施　3班振り返り、他班交流授業準備	資料
18	（リコルス保育園）5班交流授業実施　4班振り返り、他班交流授業準備	資料
19	（リコルス保育園）1班交流授業実施　5班振り返り、他班交流授業準備	資料
20	（リコルス保育園）2班交流授業実施　1班振り返り、他班交流授業準備	資料
21	（リコルス保育園）3班交流授業実施　2班振り返り、他班交流授業準備	資料
22	（リコルス保育園）4班交流授業実施　3班振り返り、他班交流授業準備	資料
23	（リコルス保育園）5班交流授業実施　4班振り返り、他班交流授業準備	資料
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
※毎回、動きやすい服装で参加すること

【準備学習・時間外学習】
対象者との集団作業療法及び作業活動を計画するにあたり計画や準備が必要。
発表するための資料作成やまとめの準備が必要。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。
サ高住：課題の評価を20点、定期試験を30点として合計50点、
リコルス保育園：課題の評価30点、定期試験20点として合計50点、合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。